

令和五年度 東京都立大泉桜高等学校 入学式 校長式辞

暖かな春の日差しの中、桜の花は春風に舞い、萌えいずる若葉は命の力を感じさせてくれます。ここに、春の光に包まれて若葉のように輝く新入生を向かえ、東京都立大泉桜高等学校、第十九回入学式を、来賓の皆様、保護者の皆様ご列席のもと挙行できること、校長としてうれしく思っております。

ただ今入学を許可した185名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは本校を選び、自らの力で入学試験を受け合格し、入学しました。まずは、本校を選択した勇気と目標を実現した努力をたたえます。本当に良く頑張りました。こうして皆さんに出会えたことをうれしく思います。新入生の皆さん、この出会いに感謝し、共にこの大泉桜高等学校で学んでいきましょう。

さて、入学式に当たり「選択、選ぶこと」をキーワードにお話をします。本校のスクール・ミッション、学校としての使命は「生涯にわたって学び続けることができる主体的な生徒、責任感と規範意識を持つ社会に貢献できる生徒、将来への意欲や目的意識を持つ自立した生徒の育成、を目指し、単位制の特色を生かした多様な選択科目による教育活動を通して進路実現を図り、社会を生き抜く生徒を育成します。」となっています。短くまとめると、本校での三年間の学びの中で、科目を選択するだけでなく、様々な選択を通して、その選択に責任をもち、自己実現を図る。そのことで、これからの社会に自ら学ぶ力をもち、社会の一員として貢献していく、そんな人間に育ててほしい、育てていきたい、と私は考えています。

先ほどお話ししたように、新入生の皆さんは、将来に向けて高校進学という大きな選択をしました。高校入学後も、更なる進路決定に向けた選択の場面があります。どんな科目を学ぼうか、どんな学びに出会えるか、期待と不安の入り混じった気持ちなのではないでしょうか。本校には、キャリア・ガイダンスという授業があります。キャリア・ガイダンスの中で、選択について、進路について考え、時には悩み、新しい自分を見つけていきましょう。キャリア・ガイダンス以外にも、授業の場面や部活動などでもさまざまな選択の場面を迎えることでしょう。

選択に迷うこともあると思いますが、迷ってもいいのです。選択に迷ったら、周りの大人に頼りましょう、先生や保護者に相談してください。友達に相談してもいいで

しょう。私は、学校という場で学ぶ意義は、相談相手に出会えること、相談の中で自分を見つけることができることだと考えます。選択を通した新しい自分との出会い、それが本校で学ぶ楽しさの一つです。

そして、選んだことは、自分事として受け止め、決して他人のせいにしない。先生が言ったから、親が言ったから、ではなく自分で責任を取ること、自信をもって選択すること、それが大人になる、ということです。

現代の社会はブーカの時代と言われています。英語で、変動、不確実、複雑、曖昧、をあらわす単語の頭の字をとって、V、U、C、A、ブーカの時代と言います。要約すると、時代は変化し、不確かで複雑で、あいまいさを含むものである、ということです。このような時代の中で、自分にとって何を選べばよいかを常に考え、選ぶ力、実行する力を身につけていきましょう。困ったら、悩んだら、共に考え、学んでいきましょう。本校を選択したことに自信をもって、これからの選択の場面に臨みましょう。そして本校卒業の日には、自信をもって未来を選択できる力、生き抜く力を身につけて卒業していくことを、私は期待しています。

保護者の皆様におかれましては、本日の入学式を心待ちにされていらっしゃると思います。冒頭、本校を選択して入学した勇気と努力をたたえます、というお話をしました。御家庭でも、新入生が自らの力で、自分の進路を実現させたことを、たたえてあげてください。そして今日、本校の制服を着て、りりしく自信に満ち溢れた姿を心に焼き付けていただきたいと考えております。これからの三年間も引き続き、御家庭でも生徒をあたたく見守り、本校へ毎日送り出していただくよう、お願いいたします。御家庭と学校で共に手を携え、卒業の日まで、生徒の選択と成長を支えていただけるよう、お願い申し上げます。

結びとなりますが、教職員一同、新入生を暖かく時には厳しく励まし、支え、自らの未来を切り開く力をはぐくむことをお誓い申し上げ、式辞といたします。

令和五年四月七日

東京都立大泉桜高等学校 校長 尾崎 肇